



桜ヶ丘幼稚園の砂場から園舎

「人生に必要な知恵は、すべて幼稚園の砂場で学んだ。」
ロバートフルガム(米)
を基本理念に、子供の自立心を育てます。

わが郷土・深谷

夢とこころざしをもち、まごころと
思いやりのある深谷の子



保育サービスの向上

- 1 給食の提供(令2年～)
- 2 3歳児からの受け入れ(令3年～)
- 3 預かり保育時間の延長(令3年～)
- 4 長期休業中の預かり保育(令3年～)



幼稚園教育要領

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(育みたい資質・能力)

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然とのかかわり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現



令和4年度桜ヶ丘幼稚園グランドデザイン

教育目標

元気に遊ぶ子、友達と仲よくする子、よく考える子
～腰骨を立て 自分からとりくむ さくらの子(土台)～

目指す園児像

「よく考え、友達と仲よく、元気に遊ぶ子」

- ・遊びを通して様々な体験を積み元気に生活する園児
- ・人と関わる中で、あたたかい心を持つ園児
- ・決まりを守り、物事をやり遂げ、自信を持つ園児

経営方針

園児一人一人を、教職員が「認める」、「励ます」、「ほめる」で自信を持たせ、子供の意欲を高め、可能性をのばします。

- ・園児にとって楽しい幼稚園となるように環境を構成します。
- ・教職員の研修を充実し、指導力の向上に努めます。
- ・教師間で連携し、協力して支援・指導します。
- ・保健・安全教育を徹底します。
- ・家庭や地域と協力し、より良い園づくりをします。

目指す教師像

目の前の幼児を「認め・励まし・ほめる」を繰り返し、自信を持たせる。

- ・幼児を愛し、幼児と共に歩む教師
- ・家庭、地域の期待、信頼に応える教師

指導の重点・努力点

- ① 幼児の発達を促す環境を構成し、適切な指導・支援を行います。
- ② 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の実現を図ります。
- ③ 様々な「学び」で小学校との滑らかな接続を図ります。
- ④ 家庭・地域との連携し、子育てを支援します。
- ⑤ 深谷の子「6つの誓い」に取り組みます。

研究課題

友達と仲よく遊び・学び、自立する子の育成



昭和38年開園・57年の伝統・6268名の卒園生。平成14年現園舎建築



園舎内はオープンスペースで明るく開放的、絵本コーナー等設備も充実

なめらかな接続

桜ヶ丘小学校とのつながり

- ・ALTによる「英語遊び」
- ・小学生保健委員による歯磨き指導
- ・小1授業参観、学校説明会
- ・小学校給食の提供と食育への一歩
- ・小学校プールによる「プール遊び」
- ・野菜畑の借用(2か所)
- ・小学2年生町探検による訪問交流
- ・「論語遊び」
- ・共同人権教育
- ・資源回収への参加
- ・幼小連絡協議会



家庭とのつながり

- ・家庭確認訪問(4月)
- ・交通安全クラブ結成式(5月)
- ・遠足(仙元山5月)の引率補助
- ・父の日、母の日のプレゼント
- ・花はなプラン(6,11月)実施
- ・夏のお楽しみ会(7月)参観
- ・竹馬、竹ぼっくりづくり(10月)
- ・親子遠足(動物園・10月)
- ・祖父母会(12月)
- ・いつでも幼稚園参観
- ・HPによる情報共有
- ・お迎え時のチャンス相談

地域とのつながり

- ・入園式来賓招待(4月)
- ・園児募集時の就園相談(8月～)
- ・南地区敬老会でのよさこい(9月)
- ・運動会への招待(10月)
- ・施設訪問(駅前交番11月)
- ・クリスマス会サンタ(12月)
- ・施設見学、説明(随時)
- ・サッカー教室(毎月)
- ・子育て支援相談

